

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	栄養学概論 (Nutrition)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	榊原 未来
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	15	開講区分	前期
コース	I 部			(単位)	1	曜日・時限	金曜日 2限

【授業の学習内容】

基礎栄養学を知ることによって鍼灸師、スポーツ関係分野の専門家として、最低限知っておいてほしい栄養に関する知識を養い、生活習慣と食習慣が密に関係していることを知り、食事を摂る事の重要性について理解し、鍼灸師として現場に出たときに対象者に対し、寄り添ったアドバイスができるようになる。

※実務者経験

2010年4月～2013年3月までスポーツジムにて食事フォロー及び目標設定

2018年9月～特定保健指導員として、メタボリックシンドローム予備軍を対象に目標設定及び行動計画の策定に携わる

【到達目標】

栄養素と食事の関係について理解し、対象者に対して説明ができるようになる

<具体的な目標>

- ①栄養素の働きを説明できる
- ②栄養素の体内での働きを説明できる
- ③栄養素と食事の関係について説明できる

授業計画・内容

1回目	目標①栄養学について理解できる
2回目	目標①エネルギー・酸性栄養素について理解できる
3回目	目標①ビタミン・ミネラルについて理解できる
4回目	目標②消化・吸収・代謝について理解ができる①
5回目	目標②消化・吸収・代謝について理解ができる②
6回目	目標③食事摂取基準について理解できる
7回目	目標③食事バランスガイドについて理解できる
8回目	栄養学概論のまとめ
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習  
時間外学習

評価方法

1. 定期試験(100%)
2. 小テスト(0%)
3. レポート(0%)
4. 課題成果(0%)
5. 実地試験(0%)

評価方法はGPA制度となります  
100～90点 S  
89～80点 A  
79～70点 B  
69～60点 C  
59点以下 F不合格

受講生への  
メッセージ

鍼灸師として現場に出た際、対象者様から食事について聞かれたとき、専門知識をもったアドバイスができるようになってください。

【使用教科書・教材・参考書】

生理学 第3版 公益社団法人東洋療法学校協会 編 内田さえ 原田玲子 他著

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	運動学 ( Kinesiology )	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	梅村 勇介
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期・後期
コース	I 部			(単位)	2	曜日・時限	月曜日 2限

### 【授業の学習内容】

実務者経験:大学院(鍼灸学博士前期(修士)課程修了)大学院では、筋肉の痛みとトリガーポイントについて臨床・研究を行っていた。  
また、SoAir鍼灸院岡町にて臨床に関わる。  
正常な運動の仕組みについて理解し、運動器疾患を評価する際の異常な運動を見極める力とその原因を分析する思考力を身に付け、本授業修了時には、①各関節の運動学について説明できる。②各関節の正常な運動と異常な運動を見分けることができその違いについて説明できる。

### 【到達目標】

ヒトの身体運動の仕組みについて学び、解剖学・生理学で学んだ筋・骨格系の構造と機能との関係、身体に加わる力との関わり、身体運動の制御機序、運動技能の獲得過程など身体運動に関する諸問題について理解することができる。

<具体的な目標>

- ①各関節構造を理解し説明できる
- ②各関節構造の運動学について理解し説明できる。

### 授業計画・内容

1回目	関節構造と機能が理解できる。	16回目	膝関節の運動学が理解できる。
2回目	関節構造と機能が理解できる。	17回目	膝関節の運動学が理解できる。
3回目	骨格筋の構造と機能が理解できる。	18回目	足関節・足部の運動学が理解できる。
4回目	骨格筋の構造と機能が理解できる。	19回目	足関節・足部の運動学が理解できる。
5回目	肩複合体の運動学が理解できる。	20回目	手関節・手指の運動学が理解できる。
6回目	肩複合体の運動学が理解できる。	21回目	手関節・手指の運動学が理解できる。
7回目	肘関節・前腕の運動学が理解できる。	22回目	顔面と頭部の運動学が理解できる。
8回目	肘関節・前腕の運動学が理解できる。	23回目	顔面と頭部の運動学が理解できる。
9回目	脊柱・体幹の運動学が理解できる。	24回目	姿勢について理解できる。
10回目	脊柱・体幹の運動学が理解できる。	25回目	姿勢について理解できる。
11回目	頭蓋骨の構造が理解できる。	26回目	歩行について理解できる。
12回目	頭蓋骨の構造が理解できる。	27回目	歩行について理解できる。
13回目	顔面頭蓋の筋について理解できる。	28回目	運動学習について理解できる。
14回目	顔面頭蓋の筋について理解できる。	29回目	運動学習について理解できる。
15回目	まとめ	30回目	まとめ

準備学習  
時間外学習

この授業には、運動器系における解剖学・生理学で学んだ正常な構造と機能についての理解が必要不可欠です。目標①各関節運動の学習前には、各関節に関連する骨・筋・神経について予習が必要です。  
目標②各関節運動は一つの関節のみで動くことは少ない為、必ず周辺の関連する関節構造と運動について復習する必要があります。

評価方法

1. 定期試験(100%)
2. 小テスト(%)
3. レポート(%)
4. 課題成果(%)
5. 実地試験(%)

評価方法はGPA制度となります  
100~90点 S  
89~80点 A  
79~70点 B  
69~60点 C  
59点以下 F不合格

定期試験(100%)

受講生への  
メッセージ

我々鍼灸師が治療する領域の中で、運動器疾患は非常に多い割合になります。よって正常な構造に加え正常な運動を理解することは、異常な動作を見極めその原因を考えることは非常に重要となります。運動がくでは、異常運動を見極め、その原因を分析できるようになるために理解しておかなければならない正常な運動とその仕組みについて学びます。ヒトの動きとその仕組みについて興味をもち、将来、「動きをみて、病態を把握できる」よう一緒に楽しく学びま

### 【使用教科書・教材・参考書】

石川 郎、種村 留美著:運動学、中山書店河野邦雄、解剖学:解剖学 医歯薬出版

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	病理学 ( Pathology )	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	蒲 貞行
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	後期
コース	I 部			(単位)	(2)	曜日・時限	水曜日 3限

### 【授業の学習内容】

担当教員は、臨床検査技師としての国家資格(1970年)、日本臨床細胞学会認定の細胞検査士資格(通番171号)、国際細胞学会認定資格(通番444号)、博士(保健学)の称号を持つ。1970年に愛知県対がん協会に入職後、愛知県がんセンター病院および愛知県総合保健センター臨床検査部で病理学、細胞診、血液学、生化学、生理学などの検査に従事した後、群馬大学大学院保健学研究科(2004～2015年:准教授)で病理学、細胞診断学の講義と実習に従事し、細胞検査士の養成に尽力した。その間に前橋東洋医学専門学校で病理学概論の講義も兼務した(2006～2014年)。その後群馬パース大学と中部大学の客員教授としての教鞭をとった。日本臨床細胞学会技師賞の受賞歴がある。病理学は医学の基礎を成す学問であり、その内容は深く広範である。担当教員の上記経験を踏まえ、医療人として修得が望まれる病理学的知識を教授する。授業内容は、国家試験に十分対応できる理解力の養成を主眼として教授する。

### 【到達目標】

医療人を志す者にとって、病理学は基本的な学問である。病理学概論では、広く疾病の分類と定義、原因と成り立ち、発生頻度、症状、死など様々な疾病の理解を深める。

### 授業計画・内容

1回目	病理学とは(1) [病理学の意義、観察法、などを修得する]		
2回目	病理学とは(2)～疾病の一般 [自覚症状、他覚症状、などを修得する]		
3回目	細胞障害[退行性病変](1) [細胞萎縮、変性、などを修得する]		
4回目	細胞障害[退行性病変](2) [代謝異常(糖尿病、黄疸)、などを修得する]		
5回目	細胞障害[退行性病変](3) [老化、壊死、アポトーシス、などを修得する]		
6回目	循環障害(1) [充血、うっ血のいろいろ、などを修得する]		
7回目	循環障害(2) [門脈圧亢進症、血栓と塞栓、などを修得する]		
8回目	循環障害(3) [虚血と梗塞、浮腫、高血圧症、などを修得する]		
9回目	中間試験		
10回目	解説		
11回目	進行性病変(1) [肥大と過形成、再生、化生、などを修得する]		
12回目	進行性病変(2) [創傷治癒、骨折の治癒、異物処理、移植、などを修得する]		
13回目	炎症(1) [炎症の5主徴、などを修得する]		
14回目	炎症(2) [炎症のメカニズム、炎症の種類、などを修得する]		
15回目	炎症(3) [結核、耐性菌、サイトカイン、などを修得する]		
準備学習 時間外学習	担当教員による配布テキストは、国家試験に対応できる知識の理解に配慮して準備された内容となっている。事前にその資料の一読が望ましい。 また、授業後には、授業で担当教員が強調した点を中心に要点を整理し、国家試験問題の解答を試みるのも理解の習得に効果的である。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	期末試験の成績をもとに評価する。当該期間に学んだ内容を国家試験レベルの問題として出題する。中間試験の得点率と期末時の試験の得点率の平均点で評価する。試験はマークシート形式で行う。
受講生への メッセージ	人生、とくに医療人としての人生は生涯学びである。 私は、受講生の皆さんが「人生、日々一切が生命現象の探究であり、そのことを通して人間性を磨くことである」との思いを持って教授する。 ぜひ授業だけでなく、日常生活でのすべてに於いて、「いのちと人間の理解」につながる「学ぶ心」を身につけて頂きたい。		

### 【使用教科書・教材・参考書】

病理学概論 (第2版) 医歯薬出版株式会社  
担当教員による配布テキストおよび国家試験過去問集(Part 1&2)

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	病理学 ( Pathology )	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	蒲 貞行
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	後期
コース	I 部			(単位)	(2)	曜日・時限	水曜日 3限

### 【授業の学習内容】

担当教員は、臨床検査技師としての国家資格(1970年)、日本臨床細胞学会認定の細胞検査士資格(通番171号)、国際細胞学会認定資格(通番444号)、博士(保健学)の称号を持つ。1970年に愛知県対がん協会に入職後、愛知県がんセンター病院および愛知県総合保健センター臨床検査部で病理学、細胞診、血液学、生化学、生理学などの検査に従事した後、群馬大学大学院保健学研究科(2004～2015年:准教授)で病理学、細胞診断学の講義と実習に従事し、細胞検査士の養成に尽力した。その間に前橋東洋医学専門学校で病理学概論の講義も兼務した(2006～2014年)。その後群馬パーサ大学と中部大学の客員教授としての教鞭をとった。日本臨床細胞学会技師賞の受賞歴がある。病理学は医学の基礎を成す学問であり、その内容は深く広範である。担当教員の上記経験を踏まえ、医療人として修得が望まれる病理学的知識を教授する。授業内容は、国家試験に十分対応できる理解力の養成を主眼として教授する。

### 【到達目標】

医療人を志す者にとって、病理学は基本的な学問である。病理学概論では、広く疾病の分類と定義、原因と成り立ち、発生頻度、症状、死など様々な疾病の理解を深める。

### 授業計画・内容

1回目	免疫とアレルギー(1) [細胞性免疫・液性免疫、などを修得する]		
2回目	免疫とアレルギー(2) [免疫不全、自己免疫疾患(特にリウマチ、膠原病)、などを修得する]		
3回目	免疫とアレルギー(3) [アレルギーの5分類、などを修得する]		
4回目	スライド [病原微生物、細菌の分類について修得する]		
5回目	腫瘍(1) [腫瘍の分類と主な例、癌と良性腫瘍の相違点、癌細胞の特徴、などを修得する]		
6回目	腫瘍(2) [前癌病変、早期癌の定義、転移のいろいろ、などを修得する]		
7回目	腫瘍(3) [腫瘍の原因、主要随伴症候群、腫瘍マーカー、ガンの疫学、子宮癌と細胞診、などを修得する]		
8回目	中間試験		
9回目	解説		
10回目	先天性異常(1) [遺伝病、染色体異常、などを修得する]		
11回目	先天性異常(2) [奇形の環境要因、主な先天奇形、などを修得する]		
12回目	病因(1) [内因と外因、栄養障害を修得する]		
13回目	病因(2) [物理的外因、化学的外因を修得する]		
14回目	病因(3) [生物学的外因、日和見感染、菌交代現象などを修得する]		
15回目	特別講義		
準備学習 時間外学習	担当教員による配布テキストは、国家試験に対応できる知識の理解に配慮して準備された内容となっている。事前にその資料の一読が望ましい。 また、授業後には、授業で担当教員が強調した点を中心に要点を整理し、国家試験問題の解答を試みるのも理解の習得に効果的である。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	期末試験の成績をもとに評価する。当該期間に学んだ内容を国家試験レベルの問題として出題する。中間試験の得点率と期末時の試験の得点率の平均点で評価する。試験はマークシート形式で行う。
受講生への メッセージ	人生、とくに医療人としての人生は生涯学びである。 私は、受講生の皆さんが「人生、日々一切が生命現象の探究であり、そのことを通して人間性を磨くことである」との思いを持って教授する。 ぜひ授業だけでなく、日常生活でのすべてに於いて、「いのちと人間の理解」につながる「学ぶ心」を身につけて頂きたい。		

### 【使用教科書・教材・参考書】

病理学概論 (第2版) 医歯薬出版株式会社  
担当教員による配布テキストおよび国家試験過去問集 (Part 1&2)

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	臨床医学総論 (Clinical Medicine General Remarks)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	遠藤 久子
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期・後期
コース	昼間 I 部			(単位)	2	曜日・時限	火曜日 2限

### 【授業の学習内容】

現代の医療では、チーム医療の重要性が叫ばれているが、医療は西洋医学を中心として実施されることが多い。しかし、東洋療法が有効な患者や疾患が存在するのも事実である。チーム医療を安全かつ効果的に実践するには、全ての医療職が適切な診察法を理解し、主たる症候に精通しておくことが必須である。誤った判断に基づいた医療の提供は、患者に不利益をもたらす。東洋医学である鍼灸であっても、全医療職が必要とする理解と技能を習得し、患者に対し有効な医療を提供するために適切に判断できる能力を修得しなければならない。臨床に必要な診察及び治療に関する医学的知識、検査法や専門用語について理解及び説明ができるようになる。※鍼灸按摩マッサージ教員免許

### 【到達目標】

患者を理解し、正しい診断・適切医療を行うためには医療面接から始まり、入念な身体診察を行うことが大切である。疾病理解と診察技能を習得し、患者に対し有効な医療を提供するための適切な判断ができるようになる。

#### <具体的な目標>

目標①医療専門用語、疾病が理解できる。目標②適切な診察技能を習得する。

### 授業計画・内容

1回目	診察の概要が理解できる。	16回目	神経系の診察が理解できる。(1)
2回目	診察の方法・手段が理解できる。(1)	17回目	神経系の診察が理解できる。(2)
3回目	診察の方法・手段が理解できる。(2)	18回目	神経系の診察が理解できる。(3)
4回目	生命徴候の診察ができる。	19回目	運動機能検査が理解できる。(1)
5回目	全身の診察が理解できる。(1)	20回目	運動機能検査が理解できる。(2)
6回目	全身の診察が理解できる。(2)	21回目	徒手検査法の種類と意義が理解できる(1)
7回目	全身の診察が理解できる。(3)	22回目	徒手検査法の種類と意義が理解できる(2)
8回目	全身の診察が理解できる。(4)	23回目	おもな症状の診察法が理解できる。(1)
9回目	局所の診察が理解できる。(1)	24回目	おもな症状の診察法が理解できる。(2)
10回目	局所の診察が理解できる。(2)	25回目	おもな症状の診察法が理解できる。(3)
11回目	局所の診察が理解できる。(3)	26回目	おもな症状の診察法が理解できる。(4)
12回目	局所の診察が理解できる。(4)	27回目	おもな症状の診察法が理解できる。(5)
13回目	その他の診察、臨床検査法が理解できる。(1)	28回目	治療学について理解できる。(1)
14回目	その他の診察、臨床検査法が理解できる。(2)	29回目	臨床心理について理解できる。
15回目	まとめ	30回目	まとめ

#### 準備学習 時間外学習

授業は各単元ごとに進行し、疾患ごとの診察・診断学となる。よって、疾患を説明する臨床医学各論との兼ね合いがあり、疾患理解が不可欠である。授業後には臨床医学各論と併せての復習を必要とする。また、人体の構造・機能の変調から検査数値や身体所見が変化するため、解剖学、生理学の予習も必要となる。

#### 評価方法

1. 定期試験100(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
2. 小テスト0(%)	
3. レポート0(%)	
4. 課題成果0(%)	
5. 実地試験0(%)	

#### 受講生への メッセージ

患者像を理解し適切な診断・治療を行うためには、医療面接から始まる入念な身体診察を行うことが大切である。現代医学的な病態把握はチーム医療の他の資格者とのコミュニケーションを図るためにも必須となる。患者の診察をすることにより病態を把握し、「何が問題でこの症状を呈しているのか」を考えることができる能力をしっかりと養いその問題を解決する治療論まで導き出せるようになって欲しい。原因を探りその問題を解決する方法論を考える『問題解決能力』を養うことは人生の様々な局面で必要とされる能力である。

### 【使用教科書・教材・参考書】

教科書：奈良信雄他著・臨床医学総論 第2版。医歯薬出版参考書：配布資料

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	臨床医学各論 I (Clinical Mwdicine Itemized discussion I)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中里亮太、早野徳俊
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	90	開講区分	後期
コース	I 部			(単位)	3	曜日・時限	月曜1限、木曜3限

### 【授業の学習内容】

れるかどうかを判断する必要な知識となります。状況によっては速やかに医療機関へ送るなどの処置ができるようにしていきます。

教科担当者:

中里: 鍼灸教員養成課程修了 よみうりランド鍼灸整骨院にて臨床に携わる。早野: 教員養成課程修了。  
2003年から臨床に携わり東洋医学療法の一つ「経絡治療」で運動器疾患をはじめ、内科・婦人科疾患も扱う。

### 【到達目標】

臨床では様々な疾患を持つ患者が来院する事が多い。このような患者に対して、習得した知識を元に、患者と接した際に必要な対応ができるようにする。

[具体的な到達目標]

目標①それぞれの疾患に対して説明ができるようにする。

目標②それぞれの疾患を持つ患者に対して、より愛護的に接することができるようにする。目標③必要があれば、速やかに医療機関に送る判断ができるようにする。

### 授業計画・内容

1回目	リウマチ性疾患・膠原病① リウマチについて理解することができる。	15回目	血液・造血管器疾患⑥ 出血性素因を説明できる
2回目	リウマチ性疾患・膠原病② 膠原病について理解することができる。	16回目	神経疾患① 脳の構造と働きを説明できる
3回目	その他の領域① 小児疾患について理解することができる。	17回目	神経疾患② 脳血栓を説明できる
4回目	その他の領域② 一般外科疾患について理解することができる。	18回目	神経疾患③ 脳塞栓を説明できる
5回目	その他の領域③ 麻酔科について理解することができる。	19回目	神経疾患④ 脳出血を説明できる
6回目	その他の領域④ 眼科・耳鼻科疾患について理解することができる。	20回目	神経疾患⑤ 髄膜炎を説明できる
7回目	その他の領域⑤ 精神科疾患・心療内科について理解することができる	21回目	神経疾患⑥ 認知症性疾患を説明できる
8回目	中間試験	22回目	神経疾患⑦ 末梢神経性疾患を説明できる
9回目	中間試験解説	23回目	神経疾患⑧ 神経痛を説明できる
10回目	血液・造血管器疾患① 血球・血漿の働きを説明できる		
11回目	血液・造血管器疾患② 赤血球疾患を説明できる①		
12回目	血液・造血管器疾患③ 赤血球疾患を説明できる②		
13回目	血液・造血管器疾患④ 白血球疾患を説明できる		
14回目	血液・造血管器疾患⑤ リンパ網内系疾患を説明できる		

準備学習  
時間外学習

当講義は応用臨床として、解剖学、生理学、病理学などの基礎医学の知識が必須です。予習を行い授業に臨むようにして下さい。

評価方法

1. 定期試験(100%)

評価方法はGPA制度となります  
100～90点 S  
89～80点 A  
79～70点 B  
69～60点 C  
59点以下 F不合格

定期試験100%

受講生への  
メッセージ

各疾患の疫学、成因、症状、検査所見、治療、予後について学習するが、それらを系統立てて考えず、用語を暗記してしまう事が多い。そのためどういう機序で症状や所見が出現したのかという病態把握をしっかり理解することに重点をおいた授業をしていて授業を進めます。頑張りましょう。

### 【使用教科書・教材・参考書】

教科書: 東洋療法学校協会 臨床医学各論 第2版

配布資料を中心に進めるため、留めておくためのファイルを用意すること。

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	臨床医学各論 I (Clinical Mwdicine Itemized discussion I)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中里 亮太
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	90	開講区分	前期 (通年)
コース	I 部			(単位)	3	曜日・時限	月曜日 1限

### 【授業の学習内容】

臨床活動を行う上で必要である「疾患」に関する知識を、現代医学的な観点から理解する事を目的とする授業である。これは病態の把握や鍼灸治療の不応疾患の鑑別はもちろん、予後の推察や他の医療機関との情報交換を行う際に必要なものであり、鍼灸臨床で診る機会が少ない分野の疾患も含め、広く疾患に関する知識を習得することがこれからの鍼灸師に求められている。  
教科担当者: 鍼灸教員養成課程修了 よみうりランド鍼灸整骨院にて臨床に携わる。

### 【到達目標】

「消化器疾患」「肝・胆・膵疾患」「腎・尿器疾患」「内分泌疾患」「代謝・栄養疾患」「循環器疾患」「感染症」についての知識を理解する事をねらいとする。具体的には、各疾患についての性差や好発年齢などの疫学、疾患を引き起こす原因や病的变化とそれにより出現する臨床症状、画像診断(単純X線・CT検査など)や血液所見などの診察所見、薬物療法や外科的手術などの治療法、その後疾患がどのように変化していくのかを推察する予後などについて学習し理解でき一般の他者に説明できることを目標とする。

### 授業計画・内容

1回目	オリエンテーション 消化管疾患① 口腔疾患について説明できる	15回目	代謝・栄養疾患① 糖代謝異常、脂質代謝異常について説明できる
2回目	消化管疾患② 食道疾患、胃・十二指腸疾患について説明できる	16回目	代謝・栄養疾患② 尿酸代謝異常、その他の代謝異常症を説明できる
3回目	消化管疾患③ 腸疾患、腹膜疾患について説明できる	17回目	循環器疾患① 心不全、心臓弁膜症について説明できる
4回目	肝・胆・膵疾患① 肝臓疾患について説明できる	18回目	循環器疾患② 不整脈、先天性心疾患、冠動脈疾患について説明できる
5回目	肝・胆・膵疾患② 胆道疾患、膵臓疾患について説明できる	19回目	循環器疾患③ 動脈疾患、血圧異常について説明できる
6回目	呼吸器疾患① 感染性呼吸器疾患について説明できる	20回目	感染症① 細菌感染症について説明できる。
7回目	呼吸器疾患② 閉塞性呼吸器疾患について説明できる	21回目	感染症② ウイルス感染症について説明できる。
8回目	呼吸器疾患③ 拘束性呼吸器疾患、その他の呼吸器疾患を説明できる。	22回目	感染症③ 性感染症について説明できる。
9回目	腎・尿器疾患① 原発性糸球体腎炎について説明できる	23回目	まとめ
10回目	腎・尿器疾患② 腎不全 感染症、腫瘍性疾患について説明できる		
11回目	腎・尿器疾患③ 結石症、前立腺疾患について説明できる		
12回目	内分泌疾患① 下垂体疾患について説明できる		
13回目	内分泌疾患② 甲状腺疾患について説明できる		
14回目	内分泌疾患③ 副腎疾患について説明できる		

準備学習  
時間外学習

当講義は応用臨床として、解剖学、生理学、病理学などの基礎医学の知識が必須です。予習を行い授業に臨むようにして下さい。

評価方法

1. 定期試験 (100%)

評価方法はGPA制度となります  
100～90点 S  
89～80点 A  
79～70点 B  
69～60点 C  
59点以下 F 不合格

定期試験 100%

受講生への  
メッセージ

各疾患の疫学、成因、症状、検査所見、治療、予後について学習しますが、それらを系統立てて考えず、ただ用語を暗記してしまうだけになりがちです。そのため、どのような機序でその症状や所見が出現したのかという病態把握をしっかり理解することに重点をおいた授業を行います。難しい内容も含まれますが一緒に頑張りましょう。

### 【使用教科書・教材・参考書】

教科書: 東洋療法学校協会 臨床医学各論 第2版  
配布資料を中心に進めるため、資料を留めておくためのファイルを用意すること。

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	東洋医学概論Ⅱ (Oriental Medicine IntroductionⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	伊藤 昌幸
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期・後期
コース	I部			(単位)	2	曜日・時限	火曜日 3限

### 【授業の学習内容】

東洋医学(中医学)を実践していくために必要な考え方・知識を理解する。  
『東洋医学臨床論』の講義で扱う種々の病証について、発生機序および治療についての理解が容易になるようにする。  
実務者経験:教員養成科終了。個人宅、介護施設などへの往診治療中心の治療院いせやを開業し臨床に携わる。

### 【到達目標】

- ①東洋医学の生理観を理解できる。
- ②病因論・病理論・病証論・診断論を理解できる。
- ③上記の内容をどのような関連性があるのか理解できる。
- ④知識・概念の習得に留まらず、臨床に活かせるようにできる。

### 授業計画・内容

1回目	気・血・津液・精について①	16回目	外感病因②
2回目	気・血・津液・精について②	17回目	内傷病因
3回目	生理物質と臓腑について①	18回目	陰陽消長、四診①
4回目	生理物質と臓腑について②	19回目	四診②
5回目	陰陽について	20回目	四診③
6回目	虚証の基礎病態	21回目	四診④
7回目	実証の基礎病態	22回目	四診⑤
8回目	肝・胆の生理及び病証	23回目	六十九難について
9回目	心・小腸の生理及び病証	24回目	弁証論治について①
10回目	脾・胃の生理及び病証	25回目	弁証論治について②
11回目	肺・大腸の生理及び病証	26回目	弁証論治について③
12回目	腎・膀胱の生理及び病証	27回目	生理物質の復習
13回目	経絡について(十二経脈、奇経八脈)	28回目	臓腑の復習
14回目	十二経脈病証	29回目	総合復習①
15回目	外感病因①	30回目	総合復習②
準備学習 時間外学習	復習をお願いします。		
評価方法	・平常点(20%) ・期末試験(筆記)(80%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	①平常点は欠席・遅刻・早退・忘れ物・提出物の期限・授業態度を減点方式で計算していく。ただし、減点は20%を越える場合は、さらに減点していく。 ②期末試験は筆記試験を行う。 ③成績は①+②の合計とする。
受講生への メッセージ	学習にあたっては”臨床に応用する”という学習意識をたえず持ってください。自分で考え、自分で対処でき、自分で問題解決できるようになるために、常に「考え」ながら学習する習慣と態度を養ってください。		
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 教科書:東洋療法学校協会編:「東洋医学概論」、医道の日本社 配布物:プリント			

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	はりきゆう理論Ⅱ (Acupuncture and Moxibustion Theory II)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中里 亮太
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	15	開講区分	後 期(1月～)
コース	I 部			(単位)	1	曜日・時限	月曜日2、3限

### 【授業の学習内容】

鍼灸刺激が生体にどのような作用を及ぼすのかを学ぶ。本講義は東洋医学的な観点ではなく、あくまで現代医学の観点から鍼灸による刺激を分析することで、鍼灸刺激により起こりうる種々の生体反応を理解する。神経学的反射機構、炎症反応、免疫反応、鍼灸に関連する学説などを学び、鍼灸施術の治効機序、鍼灸で期待できる効果を考え、臨床現場での足がかりとなる知識を培うことがねらいである。また、鍼灸に関する研究など学術的な見地に触れることで、学会への参加や論文抄読への意欲を養うことも目指す。

教科担当者: 鍼灸教員養成課程修了 よみうりランド鍼灸整骨院にて臨床に携わる。

### 【到達目標】

この科目では主に鍼灸施術の治効機序を理解することをねらいとする。基礎実験を参考とし、鍼灸刺激による反射機構の理解を深めること、炎症反応の概略を理解することで鍼灸刺激によって起こりうる現象を理解すること、鍼灸関連学説を理解することにより、鍼灸治療の特徴や合目的性について科学的に捉える習慣を身につけることが目標である。また、これらの学習する内容を、将来的に一般の患者や他の医療職種の従事者に対して、鍼灸施術の効果・効能として理解してもらえるよう分かりやすい説明ができるようになることを目標とする。

### 授業計画・内容

1回目	各種感覚の受容と伝達が理解できる。		
2回目	筋の伸張刺激及び振動の受容と伝導、鍼灸刺激と反射が理解できる。		
3回目	鍼鎮痛、刺激と反応が理解できる。		
4回目	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響が理解できる。		
5回目	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響が理解できる。		
6回目	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響が理解できる。		
7回目	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響が理解できる。		
8回目	総まとめ		
準備学習 時間外学習	この授業を受けるには、生理学の⑩神経、⑫運動、⑬感覚、⑭生体の防御機構などの理解が不可欠です。さらに解剖学についても同単元の知識が必要です。 授業後は、解剖・生理学と重ねて、人体の正常な構造と機能に対し、侵害刺激を加えることでどのような反応が起こるのか、復習を行うこと。		
評価方法	1. 定期試験100(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	定期試験 100%
受講生への メッセージ	一般の患者さんや他職種の医療従事者に対し「鍼灸が効果を示す理論」を伝えられるようになることがゴールです。現代医学を基本に科学的根拠に基づき立証されている鍼灸の効果を学んだ上で、鍼灸の有用性を正しく多くの方へ伝えられるようしましょう。コマ数が少ないですが内容は盛り沢山です。前屈みで参加して下さい。		

### 【使用教科書・教材・参考書】

教科書: 教科書執筆小委員会: はりきゆう理論第1版. 医道の日本社参考書: 配布資料(留めておくファイルを用意すること)

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	病態生理学 ( Pathophysiology )	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	遠藤 久子
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期・後期
コース	I 部			(単位)	2	曜日・時限	火曜日1限目

### 【授業の学習内容】

疾患についての病態生理学的変化を調べ説明できるようになる。疫学、病理、病態生理、診断基準、治療法について自ら学び、臨床に於いて患者の病態を理解・判断するために必要な知識と調べる方法を習得する。  
※鍼灸按摩マッサージ教員免許

### 【到達目標】

1. 代表的な器官別機能障害に関する病態生理について理解できる。
2. 病態生理の考え方、情報の整理の仕方について学び、患者に対する理解を深め、治療および患者を支援する上で必要な知識を身につける。
3. 疫学、病理、病態生理、診断、治療法について説明でき、臨床に必要な情報を自ら収集し理解する態度を身につける。

### 授業計画・内容

1回目	病態生理とはどういう学問かを理解できる。	16回目	消化器(上部消化管)について基本的な構造と働きを説明できる。
2回目	1.検査方法:基本的な検体検査について説明できる。	17回目	消化器疾患(上部消化管)について病態を説明できる。
3回目	1.検査方法:基本的な検体検査について説明できる。	18回目	消化器(下部消化管)について基本的な構造と働きを説明できる。
4回目	1.検査方法:血液生化学検査について説明できる。(小テスト)	19回目	消化器疾患(下部消化管)について病態を説明できる。(小テスト6)
5回目	1.検査方法:生理機能検査について説明できる。	20回目	消化器(肝・胆・膵)について基本的な構造と働きを説明できる。
6回目	1.検査方法:画像診断について理解できる。	21回目	消化器疾患(肝・胆・膵)について病態を説明できる。
7回目	1.検査方法:画像診断について理解できる。	22回目	内分泌・代謝系疾患について病態を説明できる。(小テスト7)
8回目	1.検査方法:画像診断について理解できる。(小テスト2)	23回目	内分泌・代謝系疾患について病態を説明できる。
9回目	脳神経系疾患について病態を説明できる。	24回目	内分泌・代謝系疾患について病態を説明できる。
10回目	脳神経系疾患について病態を説明できる。(小テスト3)	25回目	内分泌・代謝系疾患について病態を説明できる。(小テスト8)
11回目	呼吸器疾患について病態を説明できる。	26回目	腎・泌尿器について基本的な構造と働きを説明できる。
12回目	呼吸器疾患について病態を説明できる。(小テスト4)	27回目	腎・泌尿器疾患について病態を説明できる。(小テスト9)
13回目	循環器系疾患について病態を説明できる。	28回目	血液・造血器疾患、感染症疾患について病態を説明できる。
14回目	循環器系疾患について病態を説明できる。(小テスト5)	29回目	血液・造血器疾患、感染症疾患について病態を説明できる(小テスト10)
15回目	復習	30回目	復習

準備学習  
時間外学習  
随時指示されるテキストの次回授業部分と関連する生理学・解剖学の教科書を事前に読み、予習しておくこと。分からない用語や内容について自分で調べるまたはメモしておくこと。この授業を受け、理解を深めるには授業前までに授業範囲を予習し、読めない字は事前に調べておくこと。授業後は自分でノートを作り理解を深める努力をすること。

評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(0%) 3. レポート(0%) 4. 課題成果(0%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	定期試験により評価する。その他、出席、授業態度、課題も評価の対象とする。遅刻・欠席・早退、課題の不提出は減点対象となる。
------	--	--	--

受講生へのメッセージ  
この科目は、皆さんが鍼灸臨床を行うことを想定して行う科目になります。1年で学んだ基礎医学に2年生で学ぶ臨床医学(臨床医学各論、臨床医学総論、病理学)を結び付けていくことで病気の理解や病態把握ができるようになっていきます。疾患に対する理解を深めることで患者像の理解につながります。

### 【使用教科書・教材・参考書】

教科書: 疾患病態生理パーフェクトガイド(総合医学社)、  
参考書: 臨床医学各論第2版(医歯薬出版株式会社)、臨床医学総論(医歯薬出版株式会社)、  
入門人体解剖学改訂第5版(南江堂)、生理学第3版(医歯薬出版株式会社)、解剖学第2版(医歯薬出版株式会社)

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	臨床経穴学 I (Clinical Acupuncture Points I)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	高橋 菜摘
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	通年 (前期)
コース	I 部			(単位)	2	曜日・時限	水曜日 2限

### 【授業の学習内容】

1年次に習得した経絡経穴概論と解剖学の知識をより深く関連付け、各経穴に関わる筋や腱、神経などについて学習していく。経穴の名称を知っているだけでは治療はできない。臨床において使用する経穴を、主に西洋医学的な理学所見などから鑑別し疾患に対して正しい選穴をできるよう学習していく。

教科担当者: 鍼灸教員養成課程修了

### 【到達目標】

全経穴・経絡について体内構造、体表の特徴を説明できる。経穴の使用に関する禁忌穴となる説明できる。十二正経のみならず、奇経八脈についてもその走行(流注)臨床応用について説明できる。

### 授業計画・内容

1回目	肺経	経絡経穴概論の復習を行い想起することができる。
2回目	大腸経	経絡経穴概論の復習を行い想起することができる。
3回目	胃経	経絡経穴概論の復習を行い想起することができる。
4回目	脾経	経絡経穴概論の復習を行い想起することができる。
5回目	心経	経絡経穴概論の復習を行い想起することができる。
6回目	小腸経	経絡経穴概論の復習を行い想起することができる。
7回目	膀胱経	経絡経穴概論の復習を行い想起することができる。
8回目	腎経	経絡経穴概論の復習を行い想起することができる。
9回目	心包経	経絡経穴概論の復習を行い想起することができる。
10回目	三焦経	経絡経穴概論の復習を行い想起することができる。
11回目	胆経	経絡経穴概論の復習を行い想起することができる。
12回目	肝経	経絡経穴概論の復習を行い想起することができる。
13回目	督脈、任脈	経絡経穴概論の復習を行い想起することができる。
14回目	まとめ	
15回目	まとめ	
16回目	試験解説	
準備学習 時間外学習	1年次の経絡経穴学・解剖学の復習を行い、各穴の取穴・解剖的構造について予習をすること。はり実技Ⅱ・きゅう実技Ⅱでの実技実習に実践応用する。	
評価方法	小テスト 30% 定期試験 70%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格  定期試験は100点満点の試験を行い70%に換算し、小テスト点を合算する。
受講生への メッセージ	国家試験では、経絡経穴に関する出題が増えています。 1年生で学んだ基礎を強化しながら、臨床で活かせる知識へとつなげていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書: 日本理療科教員連盟・東洋療法学校協会編: 新版 経絡経穴学 医道の日本社 資料: 配布プリント		

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	臨床経穴学 I (Clinical Acupuncture Points I)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	高橋 菜摘
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	通年 (後期)
コース	I 部			(単位)	2	曜日・時限	水曜日1限

### 【授業の学習内容】

1年次に習得した経絡経穴概論と解剖学の知識をより深く関連付け、各経穴に関わる筋や腱、神経などについて学習していく。経穴の名称を知っているだけでは治療はできない。臨床において使用する経穴を、主に西洋医学的な理学所見などから鑑別し疾患に対して正しい選穴をできるよう学習していく。

教科担当者: 鍼灸教員養成課程修了

### 【到達目標】

全経穴・経絡について体内構造、体表の特徴を説明できる。経穴の使用に関する禁忌穴となる説明できる。  
十二正経のみならず、奇経八脈についてもその走行(流注)臨床応用について説明できる。

### 授業計画・内容

1回目	上肢の経穴① 各穴の名称と部位の解剖学的構造との関係を説明し、取穴部位を理解することができる。		
2回目	上肢の経穴② 各穴の名称と部位の解剖学的構造との関係を説明し、取穴部位を理解することができる。		
3回目	体幹の経穴① 各穴の名称と部位の解剖学的構造との関係を説明し、取穴部位を理解することができる。		
4回目	体幹の経穴② 各穴の名称と部位の解剖学的構造との関係を説明し、取穴部位を理解することができる。		
5回目	顔面の経穴① 各穴の名称と部位の解剖学的構造との関係を説明し、取穴部位を理解することができる。		
6回目	頭部の経穴① 各穴の名称と部位の解剖学的構造との関係を説明し、取穴部位を理解することができる。		
7回目	全身の経穴① 各穴の名称と部位の解剖学的構造との関係を説明し、取穴部位を理解することができる。		
8回目	全身の経穴② 各穴の名称と部位の解剖学的構造との関係を説明し、取穴部位を理解することができる。		
9回目	上肢の経穴② 筋・腱との関係を説明できる		
10回目	上肢の経穴③ 脈管・神経との関係を説明できる		
11回目	上肢の経穴④ 関節との関係を説明できる		
12回目	下肢の経穴② 筋・腱との関係を説明できる		
13回目	下肢の経穴③ 脈管・神経との関係を説明できる		
14回目	下肢の経穴④ 関節との関係を説明できる		
15回目	まとめ		
16回目	試験解説		
準備学習 時間外学習	1年次の経絡経穴学・解剖学の復習を行い、各穴の取穴・解剖的構造について予習をすること。はり実技Ⅱ・きゅう実技Ⅱでの実技実習に実践応用する。		
評価方法	小テスト 30% 定期試験 70%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	定期試験は100点満点の試験を行い70%に換算し、小テスト点を合算する。
受講生への メッセージ	前期で学んだ知識から、応用として疾患に対する治療穴を学びます。 他の科目とも並行して知識を身に付け、臨床に結びつけましょう。		

### 【使用教科書・教材・参考書】

教科書: 日本理療科教員連盟・東洋療法学校協会編: 新版 経絡経穴学 医道の日本社  
資料: 配布プリント

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	東洋医学臨床論 I (Oriental Medicine Clinical theory I)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	伊藤 昌幸
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期・後期
コース	I 部			(単位)	2	曜日・時限	金曜1限

### 【授業の学習内容】

『東洋医学概論』で学んだ東洋医学の生理観・疾病観・診断論・治療論に基づいて、東洋医学独自の考え方をどのように、具体的に臨床に応用できるかを学ぶ。経穴が持つ機能を理解し、弁証論治により導いた治則に対して、適切な経穴を選択できるようにする。十二経脈の循行分布(経脈・絡脈・経別・経筋)について学ぶ。  
実務者経験: 教員養成科終了。個人宅、介護施設などへの往診治療中心の治療院いせやを開業し臨床に携わる。

### 【到達目標】

- ①適切な病態把握ができるようになる。
- ②上記に基づいて、適切な経穴が選択できるようになる。
- ③鍼・灸の使い分けができるようになる。

### 授業計画・内容

1回目	経絡・経穴の分類と命名について理解できる。	16回目	頭痛について東洋医学的な考え方が理解できる。
2回目	経絡の循行について理解できる。	17回目	顔面痛・顔面麻痺について東洋医学的な考え方が理解できる。
3回目	経穴の定位について理解できる。	18回目	歯痛について東洋医学的な考え方が理解できる。
4回目	経穴の主治法則が理解できる。	19回目	眼精疲労について東洋医学的な考え方が理解できる。
5回目	手三陰経絡系統の循行が理解できる。	20回目	鼻閉・鼻汁について東洋医学的な考え方が理解できる。
6回目	手三陽経絡系統の循行が理解できる。	21回目	めまいについて東洋医学的な考え方が理解できる。
7回目	足三陰経絡系統の循行が理解できる。	22回目	耳疾患について東洋医学的な考え方が理解できる。
8回目	足三陽経絡系統の循行が理解できる。	23回目	咳嗽について東洋医学的な考え方が理解できる。
9回目	経穴の効能について理解できる。①	24回目	喘息について東洋医学的な考え方が理解できる。
10回目	経穴の効能について理解できる。②	25回目	腹痛について東洋医学的な考え方が理解できる。
11回目	経穴の効能について理解できる。③	26回目	悪心嘔吐について東洋医学的な考え方が理解できる。
12回目	経穴の効能について理解できる。④	27回目	便秘と下痢について東洋医学的な考え方が理解できる。
13回目	経穴の効能について理解できる。⑤	28回目	月経異常について東洋医学的な考え方が理解できる。①
14回目	経穴の効能について理解できる。⑥	29回目	月経異常について東洋医学的な考え方が理解できる。②
15回目	経穴の効能について理解できる。⑦	30回目	排尿障害について東洋医学的な考え方が理解できる。

準備学習  
時間外学習

『東洋医学概論』で学んだ生理観・病理観などが理解できていないと、『臨床論』の内容が理解できません。しっかり復習をお願いします。

評価方法

・平常点(20%)  
・期末試験(筆記)(80%)

評価方法はGPA制度となります  
100～90点 S  
89～80点 A  
79～70点 B  
69～60点 C  
59点以下 F不合格

- ①平常点は欠席・遅刻・早退・忘れ物・提出物の期限・授業態度を減点方式で計算していく。ただし、減点は20%を越える場合は、さらに減点していく。
- ②期末試験は筆記試験を行う。
- ③成績は①+②の合計とする。

受講生への  
メッセージ

学習にあたっては「臨床に応用する」という学習意識をたえず持ってください。自分で考え、自分で対処でき、自分で問題解決できるようになるために、常に「考え」ながら学習する習慣と態度を養ってください。

### 【使用教科書・教材・参考書】

教科書: 東洋療法学校協会編: 「東洋医学臨床論」、医道の日本社

配布物: プリント

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	東洋医学臨床論Ⅱ (Oriental Medicine Clinical theoryⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	早野徳俊
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間			(単位)	1	曜日・時限	木曜日2限目

### 【授業の学習内容】

『東洋医学概論』で学んだ東洋医学の生理観・疾病観・診断論・治療論に基づいて、東洋医学独自の考え方をどのように、具体的に臨床に応用できるかを学ぶ。

鍼灸臨床に必要な東洋医学的診察法(四診等)をから、証立て・施術方針・治療穴の選穴ができる。

※実務経験:教員養成課程修了。

2003年から臨床に携わり東洋医学療法の一つ「経絡治療」で運動器疾患をはじめ、内科・婦人科疾患も扱う。

### 【到達目標】

東洋医学的な診断(証を立てる)に至る診察法を理解することで臨床施術を効果的に行うことができる。

症候・疾病ごとに、適切な病態把握、有効な臨床応用、そして東洋医学的に考がえられることを目標とする。

各症候の概略・病因病機・主症および随伴症の特徴が説明できる。

臨床時、施術頻度が高いものを症例として扱い、施術情報に不足が無いよう想定することができる。

### 授業計画・内容

1回目	症例問題(臨床時に必要な情報を基に、最適な治療方針や治療穴を選択する)の傾向について理解できる。		
2回目	症例練習①		
3回目	症例練習②		
4回目	症例練習③		
5回目	症例練習④		
6回目	症例練習⑤		
7回目	症例練習⑥		
8回目	症例問題作問: 施術方針に必要な情報をまとめることができる。		
準備学習時間 外学習	「東洋医学臨床論Ⅰ」や「鍼灸診断学Ⅰ」で学んだ疾患毎の病態と診察法をより多く入力(インプット)し、自分の言葉として出力(アウトプット)出来るように日々用いる習慣を持ちましょう。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	定期試験100%
受講生への メッセージ	つらい訴えから病を見つけるための情報は臨床において必修です。自分や周りの方々の身体症状も含め見つめなおしてみましょう。		

### 【使用教科書・教材・参考書】

教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK (株)滋慶出版、東洋医学臨床論. 医道の日本

参考資料: 配布プリント・練習問題等

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	鍼灸診断学Ⅰ (Acupuncture and Moxibustion PathognomyⅠ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	早野徳俊
学科	鍼灸科	授業 形態	講義 実習	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間			(単位)	1	曜日・時限	木曜日3限

### 【授業の学習内容】

鍼灸臨床に必要な東洋医学的診察法(四診等)を学び、証を立てることが出来るようになる。  
 ※実務経験:教員養成課程修了。  
 2003年から臨床に携わり東洋医学療法の一つ「経絡治療」で運動器疾患をはじめ、内科・婦人科疾患も扱う。

### 【到達目標】

東洋医学的な診断(証を立てる)に至る診察法を理解することで臨床施術を効果的に行うことができる。

- ①望診:視覚情報を得る。
- ②聞診:聴覚・嗅覚情報を得る。
- ③問診:東洋医学的な病態情報を得る。
- ④切診:触覚情報を得る。

### 授業計画・内容

1回目	東洋医学的診察法(四診)と西洋医学的診察法の違いについて理解できる。		
2回目	望診① 視覚情報収集について理解できる。		
3回目	望診② 舌診について理解できる。		
4回目	聞診 聴覚・嗅覚情報収集について理解できる。		
5回目	問診① 寒熱について理解できる。		
6回目	問診② 飲食について理解できる。		
7回目	問診③ 睡眠について理解できる。		
8回目	問診④ 二便について理解できる。		
9回目	問診⑤ 情志・生活環境について理解できる。		
10回目	問診⑥ その他の症状(部位別・性別・年齢別)について理解できる。		
11回目	切診① 脈診(脈状診)について理解できる。		
12回目	切診② 脈診(六部定位脈診)について理解できる。		
13回目	切診③ 腹診について理解できる。		
14回目	切診④ その他(切経・背診)の触診法について理解できる。		
15回目	試験(口頭試問)・解説		
準備学習 時間外学習	実技演習後には、自身や周りの者に診察を実地し知識を定着させましょう。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	定期試験(口頭試問)を基本として、学習態度等を加味して評価する。
受講生への メッセージ	つらい訴えから病を見つけるための情報は臨床において必修です。自分自身の身体症状も含め見つめなおしてみましょう。		

### 【使用教科書・教材・参考書】

教科書:ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK (株)滋慶出版、東洋医学概論参考資料:配布プリント・練習問題等

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	はり実技Ⅱ (Acupuncture Practical Skills Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	高橋 菜摘
学科	鍼灸科	授業 形態	実技 実習	総時間	90	開講区分	前期
コース	I部			(単位)	3	曜日・時限	木曜2限

### 【授業の学習内容】

鍼灸臨床において経験することが多い疾患・病態について理論とともに西洋医学的な治療法、東洋医学的な治療法を学び、適切に施術を行うことができる。  
 鍼の基礎を再確認しながら応用である臨床実習Ⅰの授業と紐づける。  
 実務経験・教員養成課程修了

### 【到達目標】

衛生操作や適格に取穴を行うことができる。  
 東洋医学概論・東洋医学臨床論で学んだ知識を臨床に活かすことができるようになる。弁証論治により導きだした経穴(処方)を導き出すことができる。  
 処方がどのような意味で構成されているか、またどのような治療目的を果たすのかが理解できる。病態の変化に応じて処方の組合せを変化させることができる。

### 授業計画・内容

1回目	衛生操作、患者誘導などの確認	16回目	足の少陽胆経への刺鍼ができるようになる③
2回目	手の太陰肺経への刺鍼ができるようになる	17回目	足の厥陰肝経への刺鍼ができるようになる
3回目	手の陽明大腸経への刺鍼ができるようになる	18回目	督脈・任脈への刺鍼ができるようになる
4回目	足の陽明胃経への刺鍼ができるようになる	19回目	試験対策
5回目	足の太陰脾経への刺鍼ができるようになる	20回目	試験対策
6回目	手の少陰心経への刺鍼ができるようになる	21回目	定期試験①(対人刺鍼)
7回目	手の太陽小腸経への刺鍼ができるようになる	22回目	定期試験②(対人刺鍼)
8回目	足の太陽膀胱経への刺鍼ができるようになる①	23回目	試験解説
9回目	足の太陽膀胱経への刺鍼ができるようになる②		
10回目	足の太陽膀胱経への刺鍼ができるようになる③		
11回目	足の少陰腎経への刺鍼ができるようになる		
12回目	手の厥陰心包経への刺鍼ができるようになる		
13回目	手の少陽三焦経への刺鍼ができるようになる		
14回目	足の少陽胆経への刺鍼ができるようになる①		
15回目	足の少陽胆経への刺鍼ができるようになる②		

準備学習  
時間外学習

解剖学の復習を行うこと。  
 経穴の復習を行うこと。  
 東洋医学の復習を行うこと。

評価方法

・平常点(20%)  
 ・期末試験(実技)(80%)

評価方法はGPA制度となります  
 100~90点 S  
 89~80点 A  
 79~70点 B  
 69~60点 C  
 59点以下 F不合格

①平常点は無断の欠席・遅刻・早退、忘れ物、提出物、授業態度を減点方式とする。  
 ②試験は実技試験を行う。  
 ③成績は①+②の合計とする。

受講生への  
メッセージ

2年生後期から始まる臨床実習Ⅰ(実技)の授業では、はりきゅう実技の応用を行います。  
 基礎があつての応用です。この授業では、1年生に引き続き、実技の基礎の手を養う時間として有意義なものにしましょう。

### 【使用教科書・教材・参考書】

図解針灸臨床手技マニュアル: 医歯薬出版  
 配布資料

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	はり実技Ⅱ (Acupuncture Practical Skills Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	高橋 菜摘
学科	鍼灸科	授業 形態	実技 実習	総時間	90	開講区分	後期
コース	I部			(単位)	3	曜日・時限	木曜2限

### 【授業の学習内容】

鍼灸臨床において経験することが多い疾患・病態について理論とともに西洋医学的な治療法、東洋医学的な治療法を学び、適切に施術を行うことができる。  
鍼の基礎を再確認しながら応用である臨床実習Ⅰの授業と紐づける。  
実務経験・教員養成課程修了

### 【到達目標】

衛生操作や適格に取穴を行うことができる。  
東洋医学概論・東洋医学臨床論で学んだ知識を臨床に活かすことができるようになる。弁証論治により導きだした経穴(処方)を導き出すことができる。  
処方があるような意味で構成されているか、またどのような治療目的を果たすのかが理解できる。病態の変化に応じて処方の組合せを変化させることができる。

### 授業計画・内容

1回目	衛生操作、患者誘導などの確認	16回目	肩部の経穴への刺鍼ができるようになる②
2回目	上肢の経穴への刺鍼ができるようになる①	17回目	肩部の経穴への刺鍼ができるようになる③
3回目	上肢の経穴への刺鍼ができるようになる②	18回目	肩部の経穴への刺鍼ができるようになる④
4回目	上肢の経穴への刺鍼ができるようになる③	19回目	試験対策
5回目	下肢の経穴への刺鍼ができるようになる①	20回目	試験対策
6回目	下肢の経穴への刺鍼ができるようになる②	21回目	定期試験①(対人刺鍼)
7回目	下肢の経穴への刺鍼ができるようになる③	22回目	定期試験②(対人刺鍼)
8回目	体幹への経穴への刺鍼ができるようになる①	23回目	試験解説
9回目	体幹への経穴への刺鍼ができるようになる②		
10回目	体幹への経穴への刺鍼ができるようになる③		
11回目	頭・顔面部の経穴への刺鍼ができるようになる①		
12回目	頭・顔面部の経穴への刺鍼ができるようになる②		
13回目	頭・顔面部の経穴への刺鍼ができるようになる③		
14回目	頭・顔面部の経穴への刺鍼ができるようになる④		
15回目	肩部の経穴への刺鍼ができるようになる①		

準備学習  
時間外学習

解剖学の復習を行うこと。  
経穴の復習を行うこと。  
東洋医学の復習を行うこと。

評価方法

・平常点(20%)  
・期末試験(実技)(80%)

評価方法はGPA制度となります  
100~90点 S  
89~80点 A  
79~70点 B  
69~60点 C  
59点以下 F不合格

①平常点は無断の欠席・遅刻・早退、忘れ物、提出物、授業態度を減点方式とする。  
②試験は実技試験を行う。  
③成績は①+②の合計とする。

受講生への  
メッセージ

2年生後期から始まる臨床実習Ⅰ(実技)の授業では、はりきゅう実技の応用を行います。  
基礎があつての応用です。この授業では、1年生に引き続き、実技の基礎の手を養う時間として有意義なものにしましょう。

### 【使用教科書・教材・参考書】

図解針灸臨床手技マニュアル: 医歯薬出版  
配布資料

**名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス**

科目名 (英)	きゅう実技Ⅱ (Moxibustion Practical Skills Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	伊藤昌幸
学科	鍼灸科	授業 形態	実技 実習	総時間	90	開講区分	前期
コース	I部			(単位)	3	曜日・時限	木曜1限

**【授業の学習内容】**

鍼灸臨床において経験することが多い疾患・病態について理論とともに西洋医学的な治療法、東洋医学的な治療法を学び、適切に施術を行うことができる。  
 東洋医学臨床論にリンクして各疾患に対する治療法と考え方について学ぶ。  
 実務者経験: 教員養成科終了。個人宅、介護施設などへの往診治療中心の治療院いせやを開業し臨床に携わる。

**【到達目標】**

東洋医学概論・東洋医学臨床論で学んだ知識を臨床に活かすことができるようになる。弁証論治により導きだした経穴を組合せ(処方)を自分で考えるようになる。  
 処方がどのような意味で構成されているか、またどのような治療目的を果たすのかが理解できる。病態の変化に応じて処方の組合せを変化させることができる。

**授業計画・内容**

1回目	衛生操作、患者誘導などの確認	16回目	補瀉施灸ができるようになる。①
2回目	上肢の経穴への施灸ができるようになる①	17回目	症例問題①
3回目	上肢の経穴への施灸ができるようになる②	18回目	症例問題②
4回目	上肢の経穴への施灸ができるようになる③	19回目	症例問題③
5回目	下肢の経穴への施灸ができるようになる①	20回目	復習
6回目	下肢の経穴への施灸ができるようになる②	21回目	定期試験①
7回目	下肢の経穴への施灸ができるようになる③	22回目	定期試験②
8回目	体幹への経穴への施灸ができるようになる①	23回目	定期試験③(予備日)
9回目	体幹への経穴への施灸ができるようになる②		
10回目	体幹への経穴への施灸ができるようになる③		
11回目	経脈の流注を用いた治療ができる。①		
12回目	経脈の流注を用いた治療ができる。②		
13回目	経脈の流注を用いた治療ができる。③		
14回目	経脈の流注を用いた治療ができる。④		
15回目	経脈の流注を用いた治療ができる。⑤		

準備学習 時間外学習	解剖学の復習を行うこと。 経穴の復習を行うこと。 東洋医学の復習を行うこと。		
---------------	--	--	--

評価方法	・平常点(20%) ・期末試験(実技)(80%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	①平常点は欠席・遅刻・早退・忘れ物・提出物の期限・授業態度を減点方式で計算していく。ただし、減点は20%を越える場合は、さらに減点していく。 ②期末試験は実技試験を行う。 ③成績は①+②の合計とする。
------	-----------------------------	--	--

受講生へのメッセージ	臨床実習にむけて、患者さんの病態把握、治療方針ができるように頑張りましょう。
------------	--

**【使用教科書・教材・参考書】**

図解針灸臨床手技マニュアル: 医歯薬出版  
 配布資料

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	きゅう実技Ⅱ (Moxibustion Practical Skills Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	伊藤昌幸
学科	鍼灸科	授業 形態	実技 実習	総時間	90	開講区分	後期
コース	I部			(単位)	3	曜日・時限	木曜1限

### 【授業の学習内容】

鍼灸臨床において経験することが多い疾患・病態について理論とともに西洋医学的な治療法、東洋医学的な治療法を学び、適切に施術を行うことができる。  
 東洋医学臨床論にリンクして各疾患に対する治療法と考え方について学ぶ。  
 実務経験: 教員養成課程修了。個人宅、介護施設などへの往診治療中心の治療院いせやを開業し臨床に携わる。

### 【到達目標】

東洋医学概論・東洋医学臨床論で学んだ知識を臨床に活かすことができるようになる。弁証論治により導きだした経穴を組合せ(処方)を自分で考えるようになる。  
 処方がどのような意味で構成されているか、またどのような治療目的を果たすのかが理解できる。病態の変化に応じて処方の組合せを変化させることができる。  
 各症例問題を通じて、考え方を身につける。

### 授業計画・内容

1回目	衛生操作、患者誘導などの確認	16回目	陰虚証に用いる経穴への施灸ができるようになる①
2回目	気虚証に用いる経穴への施灸ができるようになる①	17回目	臓腑病証に用いる経穴への施灸ができるようになる①
3回目	気虚証に用いる経穴への施灸ができるようになる②	18回目	臓腑病証に用いる経穴への施灸ができるようになる②
4回目	気虚証に用いる経穴への施灸ができるようになる③	19回目	臓腑病証に用いる経穴への施灸ができるようになる③
5回目	血虚証に用いる経穴への施灸ができるようになる①	20回目	復習
6回目	血虚証に用いる経穴への施灸ができるようになる②	21回目	定期試験①
7回目	血虚証に用いる経穴への施灸ができるようになる③	22回目	定期試験②
8回目	腎精不足証に用いる経穴への施灸ができるようになる①	23回目	定期試験③(予備日)
9回目	気滞証に用いる経穴への施灸ができるようになる①		
10回目	気滞証に用いる経穴への施灸ができるようになる②		
11回目	血瘀証に用いる経穴への施灸ができるようになる①		
12回目	血瘀証に用いる経穴への施灸ができるようになる②		
13回目	陽虚証に用いる経穴への施灸ができるようになる①		
14回目	陽虚証に用いる経穴への施灸ができるようになる②		
15回目	陽虚証に用いる経穴への施灸ができるようになる③		

準備学習 時間外学習	解剖学の復習を行うこと。 経穴の復習を行うこと。 東洋医学の復習を行うこと。
---------------	--

評価方法	・平常点(20%) ・期末試験(実技)(80%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	①平常点は欠席・遅刻・早退・忘れ物・提出物の期限・授業態度を減点方式で計算していく。ただし、減点は20%を超える場合は、さらに減点していく。 ②期末試験は実技試験を行う。 ③成績は①+②の合計とする。
------	-----------------------------	--	--

受講生へのメッセージ	臨床実習にむけて、患者さんの病態把握、治療方針ができるように頑張りましょう。卒業後、現場に出ても冷静に患者を診れるようにしましょう。
------------	--

### 【使用教科書・教材・参考書】

図解針灸臨床手技マニュアル: 医歯薬出版  
 配布資料

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	認定実技試験対策 (Certification Pratical Exam Measures)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	池田 晋太郎・高橋 菜摘
学科	鍼灸科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	後期
コース	I 部			(単位)	2	曜日・時限	水曜日2限、3限

### 【授業の学習内容】

この授業では3年次に実施される臨床実習に向けて、医療面接や現代医学的な検査法などを実技として行っていく。  
臨床現場では医療面接のスキルや検査法の知識が問われるため、患者の病態を適切に把握するためにはスムーズな医療面接や検査法が行えることが必須条件となる。

#### ※実務経験

池田：鍼灸教員養成課程修了。鍼灸整骨院にて鍼灸治療に従事し、また登録販売者として医薬品の提案・販売業務にも携わる。

高橋：鍼灸教員養成課程修了

### 【到達目標】

臨床実習で患者の病態把握に必要な医療面接および検査法についてその意義を理解し、制限時間内に適切に行うことができる。

- ①相手に不快感を与えることのない医療面接・接遇力を身につける。
- ②現代医学的な検査法(血圧測定・腱反射検査・関節可動域検査・徒手筋力検査)を正しい手順で行うことができる。
- ③滋慶認定実技審査の医療面接と検査法に合格できる。

### 授業計画・内容

1回目	滋慶共通認定実技試験の目的と審査基準を理解できる	16回目	頭部の徒手検査の意義を理解し、適切に行うことができる
2回目	医療面接の基本と全体の流れについて理解できる	17回目	上肢部の徒手検査の意義を理解し、適切に行うことができる
3回目	医療面接における技法と基本態度について理解できる	18回目	体幹部の徒手検査の意義を理解し、適切に行うことができる
4回目	医療面接デモンストレーションにより実際の流れを理解できる	19回目	下肢部の徒手検査の意義を理解し、適切に行うことができる①
5回目	医療面接ロールプレイにより、適切に行うことができる①	20回目	下肢部の徒手検査の意義を理解し、適切に行うことができる②
6回目	医療面接ロールプレイにより、適切に行うことができる②	21回目	関節可動域検査の意義を理解し、適切に行うことができる①
7回目	医療面接ロールプレイにより、適切に行うことができる③	22回目	関節可動域検査の意義を理解し、適切に行うことができる②
8回目	医療面接の内容を適切にカルテに記載できる①	23回目	関節可動域検査の意義を理解し、適切に行うことができる③
9回目	医療面接の内容を適切にカルテに記載できる②	24回目	徒手筋力検査法の意義を理解し、適切に行うことができる①
10回目	現代医学的な検査法の概要について理解できる	25回目	徒手筋力検査法の意義を理解し、適切に行うことができる②
11回目	触診法による血圧測定の意義を理解し、適切に行うことができる	26回目	検査法ロールプレイにより、適切に行うことができる①
12回目	聴診法による血圧測定の意義を理解し、適切に行うことができる	27回目	検査法ロールプレイにより、適切に行うことができる②
13回目	腱反射検査の意義を理解し、適切に行うことができる	28回目	検査法ロールプレイにより、適切に行うことができる③
14回目	表在反射検査の意義を理解し、適切に行うことができる	29回目	総復習①
15回目	病的反射検査の意義を理解し、適切に行うことができる	30回目	総復習②

#### 準備学習 時間外学習

- ①医療面接の技法を理解し繰り返し練習する
- ②血圧測定の持つ臨床的な意義について予習し、繰り返し練習する
- ③反射検査に関わる反射弓を覚え、繰り返し練習する
- ④各徒手検査の目的と意義を予習し、繰り返し練習する
- ⑤主要な関節の運動方向、関節可動域を予習し、繰り返し練習する

#### 評価方法

1. 定期試験(%)
2. 小テスト(40%)
3. レポート(%)
4. 課題成果(%)
5. 実地試験(60%)

評価方法はGPA制度となります  
100～90点 S  
89～80点 A  
79～70点 B  
69～60点 C  
59点以下 F不合格

認定実技試験および出席・課題提出などの平常点も加味する

#### 受講生への メッセージ

鍼灸臨床では医療面接により患者の病態を把握し、必要な検査を行うことで患者の病態を絞ることができ、適切な鍼灸治療につなげることが出来ます。そのためには繰り返し練習を行うことが必要となります。  
また直接患者と対面して行う初めの診察事項であるため、自身がどのような先生に治療してほしいかもしっかりと考え、技術だけでなく、患者にとって安心して受けることができる雰囲気作りにも努めていきましょう。

### 【使用教科書・教材・参考書】

滋慶認定実技審査対応 ずっと使える！ 鍼灸臨床Book(滋慶教育科学研究所)リハビリテーション医学(医歯薬出版株式会社)  
臨床医学総論(医歯薬出版株式会社)

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	臨床実習 I (Clinical Practice I)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	梅村 勇介
学科	鍼灸科	授業 形態	実習	総時間	45	開講区分	後期
コース	昼間 I 部			(単位)	1	曜日・時限	水曜日 1、2限

### 【授業の学習内容】

鍼灸臨床に必要な診察法、治療法、考察について、現代医学的・東洋医学的観点から理論と実践を学習する。

実務者経験: 大学院(鍼灸学博士前期(修士)課程修了)大学院では、筋肉の痛みとトリガーポイントについて臨床・研究を行っていた。また、SoAir鍼灸院岡町にて臨床に関わる。

### 【到達目標】

3年次における臨床実習Ⅱ・Ⅲの前段階として、態度・習慣・安全で衛生的な基本の臨床技能を身に付ける。  
鍼灸臨床における一連の流れを理解し、患者の愁訴から得られる情報を整理し、必要な診断(検査法や証立て)を行い、鍼灸施術を実施できるようにする。

授業計画・内容			
1回目	鍼灸臨床の治療可能範囲について理解できる。①	16回目	神経疾患に対する適切な診断法・施術法を理解し、実践できる④
2回目	鍼灸臨床の治療可能範囲について理解できる。②	17回目	模擬患者を想定し診断・診察・治療・評価ができる。①
3回目	鍼灸臨床の治療可能範囲について理解できる。③	18回目	模擬患者を想定し診断・診察・治療・評価ができる。②
4回目	基本的なはり技術・きゅう技術ができる。①	19回目	模擬患者を想定し診断・診察・治療・評価ができる。③
5回目	基本的なはり技術・きゅう技術ができる。②	20回目	模擬患者を想定し診断・診察・治療・評価ができる。④
6回目	運動器疾患に対する適切な診断法・施術法を理解し、実践できる①	21回目	試験
7回目	運動器疾患に対する適切な診断法・施術法を理解し、実践できる②	22回目	試験
8回目	運動器疾患に対する適切な診断法・施術法を理解し、実践できる③	23回目	復習
9回目	運動器疾患に対する適切な診断法・施術法を理解し、実践できる④		
10回目	運動器疾患に対する適切な診断法・施術法を理解し、実践できる⑤		
11回目	運動器疾患に対する適切な診断法・施術法を理解し、実践できる⑥		
12回目	運動器疾患に対する適切な診断法・施術法を理解し、実践できる⑦		
13回目	神経疾患に対する適切な診断法・施術法を理解し、実践できる①		
14回目	神経疾患に対する適切な診断法・施術法を理解し、実践できる②		
15回目	神経疾患に対する適切な診断法・施術法を理解し、実践できる③		
準備学習 時間外学習	①解剖学で学習した上肢部・体幹部・下肢部の骨・筋の構造を復習する。 ②東洋医学の四診法を復習する。 ③各疾患に対する診断法・施術法を授業で実践したものをフィードバックしておく。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	定期試験を基本とし、学習態度および課題提出を加味して評価する。
受講生への メッセージ	3年次に実施される臨床実習に向けて、最低限必要となる診察方法・治療方法を学んでいきます。患者を治すための診断法・検査手技・治療法を身に付けて、より実践的な技術を習得できるよう積極的に事前・事後学習に努めて下さい。		
【使用教科書・教材・参考書】			
滋慶認定実技審査対応 ずっと使える! 鍼灸臨床Book(滋慶教育科学研究所) 解剖学第2版(医歯薬出版株式会社)、新版東洋医学概論(医道の日本社)、新版経絡経穴概論(医道の日本社)			

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	総合医学特論Ⅱ ( Holistic Medical Theory Ⅱ )	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	伊藤 昌幸 高橋 菜摘
学科	鍼灸科	授業 形態	講義 実習	総時間	15	開講区分	通年
コース	I 部			(単位)	1	曜日・時限	不定期

### 【授業の学習内容】

研究発表の種類と方法を学び、実際に研究発表を行う。  
 模擬店を出店し、企画・運営・コミュニケーションの方法を学習する。  
 スポーツを通じて、チームワークや運動が体に与える変化について学習する。  
 教科担当者：伊藤：教員養成課程修了。個人宅、介護施設などへの往診治療中心の治療院いせやを開業し臨床に携わる。  
 高橋：教員養成課程修了

### 【到達目標】

はり師、きゅう師を業とするにあたり、臨床で患者の病態の理解を深めるための資料の検索ができる。臨床に必要な技術・知識を研鑽していく意識を持つことができる。  
 自らの経験や知識を定量化することができる。多職種連携や患者とのコミュニケーションを円滑に行うことができる。

### 授業計画・内容

1回目	研究発表の方法、進め方について理解できる。		
2回目	研究発表の題材についてグループで調査することができる。		
3回目	模擬店を出店し、企画・運営を円滑に行うことができる。		
4回目	スポーツ大会に参加し、チーム内の交流を円滑に行うことができる。		
5回目	学科研究発表会(we are IKEN!)の発表内容を他学年へ向けて発表することができる。		
6回目	学内研究発表会(we are IKEN!)にて実際に発表を行うことができる。		
7回目	学内研究発表会(we are IKEN!)にて他学科の発表を聴講して、職業理解を深めることができる。		
8回目	実力試験		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
準備学習 時間外学習	自らテーマを決め、研究発表をするために必要なステップ(情報収集、実験、文献検索、まとめ、資料作成)を行う必要がある。		
評価方法	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border-right: 1px solid black;">                     1. 出席・提出物                      2. 実力試験                      3. 経穴暗唱                      4. 課題成果                 </td> <td>                     評価方法はGPA制度となります                      100～90点 S                      89～80点 A                      79～70点 B                      69～60点 C                      59点以下 F不合格                 </td> </tr> </table>	1. 出席・提出物 2. 実力試験 3. 経穴暗唱 4. 課題成果	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
1. 出席・提出物 2. 実力試験 3. 経穴暗唱 4. 課題成果	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格		
受講生への メッセージ	この科目は、研究発表を通して業界や他職種の業界人とのコミュニケーションをはかること。チーム医療に参加するのに必要なコミュニケーション力を養うこと。卒後、臨床に進むにあたり自ら学び、研鑽する意識を養うことを目標にします。知見を広めましょう。		

### 【使用教科書・教材・参考書】

適宜、必要と思われるもの。

## 名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	こどもコミュニケーション論 (Children's Communication Theory)	必修 選択	必修	年次	2	担当 教員	荒川 琴未 伊藤 昌幸・高橋菜摘
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	15	開講区分	前期
コース	昼間			(単位)	1	曜日・時限	金曜日2限

### 【授業の学習内容】

こどもの心身の発達を学び、こどもや保護者との関わりかたを学ぶ。  
 実務者経験：荒川 琴未(私立幼稚園にて勤務。保育士資格・幼稚園教諭一種免許)  
 幼児教育について学んだ経験を活かし、現在は保育科専任教員として学生教育にあたる。  
 教科担当者：伊藤：教員養成課程修了。個人宅、介護施設などへの往診治療中心の治療院いせやを開業し臨床に携わる。  
 高橋：教員養成課程修了

### 【到達目標】

- ①こどもの心身の発達やカウンセリングマインドについて理解し、臨床に活かすことができる。
- ②こどもの疾患や障害についての理解を深め、対応することができる。

### 授業計画・内容

1回目	乳幼児の身体・および運動の発達	
2回目	乳幼児の言葉とコミュニケーションの発達	
3回目	保育現場での製作遊び・ふれあい遊びを通じた実践	
4回目	こどもの心理と考え方の特徴	
5回目	特別な配慮が必要な子ども理解	
6回目	医療を要する子ども理解と援助方法	
7回目	こども・保護者へのカウンセリングマインド①(こどもとの関わり)	
8回目	こども・保護者へのカウンセリングマインド②(保護者対応)	
9回目		
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目		
準備学習 時間外学習	①毎授業ごとに振り返りレポートを書いてもらいます。 学んだことや疑問に思ったことなどを記入して、よりよい学びに繋げていきましょう。 ②前回の講義の復習として口頭で説明を求めたり、小テストを行ったりするため、前回分の学習内容を復習しておきましょう。	
評価方法	1. 出席(50%) 2. 授業レポート(30%) 3. 小テスト(20%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	グループワークで各々の意見を伝え合う中で学びを深めたり、保育現場で行われている遊びの実践や媒体製作をしたりする中で、子どもや保護者と関わるときの実践的なコミュニケーションスキルを身に付けていきましょう。	

### 【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント